



あったかハート推進週間の取組（2月）

今年度、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。

2月は、以下の内容で授業を行いました。

月	期 間	内 容
2月	2/5（月）～9（金）	情報モラル教育②（道徳科・学級活動） ネット上のいじめの事例から学ぶ

1 実際の授業

【2年生】

道徳科の動画教材「でんごんツバン」を視聴し、相手にメッセージを送る際に気を付けることについて考えました。



〈でんごんツバン（概要）〉

がんこちゃんやツムちゃん、ルンルンたちは、でんごんツバンを使って会話をする。でんごんツバンを利用することで、遠くにいる相手にもメッセージが伝えられることに喜ぶがんこちゃんたち。しかし、メッセージの返事をまだ送っていないのに、次々と新しいメッセージが届き始め、ツムちゃんは焦ってしまう。また、ケロちゃんから「ルンルンテカワイクナイ」というメッセージを受け取ったバンバンは、腹を立ててしまう。

授業では、どのように気持ちや用事を伝えたらよかったのかについて話し合いました。登場人物の立場になって考えた子供たちは、振り返りカードに以下のような感想を書きました。

- ・伝言は一気に送るのではなく、相手の気持ちを考えてゆっくり伝えることが大切だと思いました。
- ・言葉は、発音が違えば違う意味になることが分かりました。送られたら悲しい思いをする人が出ないように気を付けたいです。
- ・私がでんごんツバンを使うとしたら、相手が混乱しない言葉を使いたいです。例えば、「〇〇ってかわいくない？」という言葉で「〇〇ってかわいいよね」というように、言葉を変えて使いたいです。
- ・ぼくも伝えられた言葉で混乱したことがありました。だから、これから自分が送る言葉や文章に気を付けて、自分の気持ちや用事を相手に正しく伝えるようにしたいと思います。

他の学年でも、話し合いを通して、自分の気持ちを正しく伝えたり、相手の気持ちを考えて行動したりすることの大切さについて考える様子が見られました。